

【フロンティアスクール用中間報告書様式】

都道府県名	鹿児島県
-------	------

・学校の概要（平成 15 年 4 月現在）

学校名	栗野町立栗野小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	1	2	2	2	13	19
児童数	50	42	52	37	43	51	8	283	

・研究の概要

1．研究主題

一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい、確かな学力を身につける学習指導はどうあればよいか。

2．研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

【ティームティーチング】

2・4・5・6年 / 算数（個人差が生じやすい系統性の高い教科であり、複数の教師によるきめ細かな指導による効果が期待できる。）

3・4・5・6年 / 理科（教科の特性から、専門性を生かした指導とTTによる指導効果が期待できる）

【少人数指導】

4年 / 算数（1学級の人数が37人と多いため、少人数指導による効果が期待できる。）

4年 / 国語（1学級の人数が37人と多く、個々の読解力や表現力の育成には少人数による指導が効果的である。）

【一部教科担任制】

5・6年 / 国語（教材研究の深まりにより、専門性を高めた指導を行うことができる。）

5・6年 / 社会（教材研究の深まりにより、専門性を高めた指導を行うことができる。）

2・3・4・5・6年 / 音楽（教科の特性や指導の専門技能の点からも専科教員による授業に効果が期待できる。）

(2) 年次ごとの計画

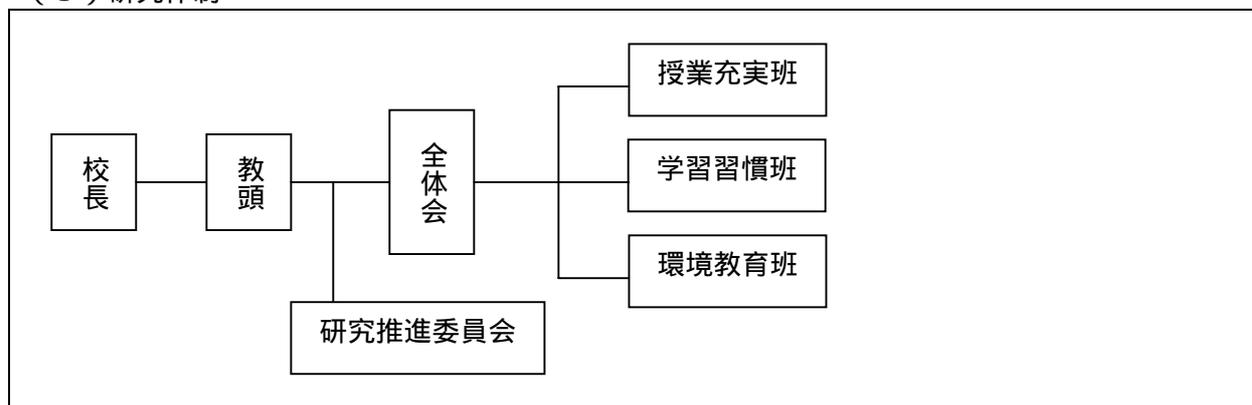
平成 14 年度	テーマ	一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい、確かな学力を身につける学習指導はどうあればよいか。
	仮説	<p>1 児童の実態に合わせて、TT 指導・少人数指導・一部教科担任制などの指導体制を導入し、それぞれの指導法を工夫すれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。</p> <p>2 この興味や分かり方に応じて、学習内容や教材教具を工夫したりすれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。</p> <p>3 継続的なドリル学習を工夫したり、家庭学習の充実を図ったりすれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。</p>
	研究内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 研究構想の作成 TT, 少人数指導, 一部教科担任制等の多様な指導法の構想と実践 ドリル学習の計画と実践 研究のまとめ（実践の集約と次年度の計画）

平成 15 年	テーマ	一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい、確かな学力を身につける学習指導はどうあればよいか。
---------------	-----	--

度	<p>仮説</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童の実態に合わせて、TT 指導・少人数指導・一部教科担任制などの指導体制を導入し、それぞれの指導法を工夫すれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。 2 この興味や分かり方に応じて、学習内容や教材教具を工夫したりすれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。 3 継続的なドリル学習を工夫したり、家庭学習の充実を図ったりすれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。 <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度別や興味・関心等に応じた多様な形態や指導法による TT や少人数指導の実践 ・ 補足的な学習や発展的な学習の実践 ・ 家庭学習の充実 ・ 研究のまとめ（実践の集約と次年度の計画）
---	---

平成 16 年度	<p>テーマ</p> <p>一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい、確かな学力を身につける学習指導はどうあればよいか。</p>
	<p>仮説</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童の実態に合わせて、TT 指導・少人数指導・一部教科担任制などの指導体制を導入し、それぞれの指導法を工夫すれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。 2 この興味や分かり方に応じて、学習内容や教材教具を工夫したりすれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。 3 継続的なドリル学習を工夫したり、家庭学習の充実を図ったりすれば、一人一人の子供が、わかる・できる喜びを味わい確かな学力を身につけるのではないか。 <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TT，少人数指導，一部教科担任制等の多様な指導法の定着 ・ 研究のまとめと研究公開

(3) 研究体制



平成 15 年度の成果及び今後の課題

1. 成果

<p>習熟度別指導の導入によるきめ細かな指導の充実</p> <p>TT，少人数指導による個に応じたよりきめ細かな授業による基礎学力の定着と学習意欲の増加。</p> <p>補充・発展的な学習に関する指導案及びワークシート作成と活用による学力の向上</p> <p>専門性を生かした指導による学習意欲の喚起と基礎学力の定着</p> <p>教師の共同の教材研究による指導力の向上</p> <p>学習環境の改善</p> <p>○ めきめきタイムによる基礎学力の伸長</p>

2. 今後の課題

- T・Tの形態を発展させた柔軟な指導形態や方法の工夫，改善
習熟度別指導を取り入れた，より個に応じたきめ細かな指導の充実
教科担任，加配教員等と学級担任との連携の充実
- 評価規準，補充・発展的な学習資料の活用
家庭学習と授業との一体化の推進と主体的学習態度の育成

学力把握のための学校としての取組

- 評価規準による日常的な学習状況の把握
N・R・T検査の実施（年1回）
C・R・T検査の実施（年1回）
計算力テストの実施（年2回）
単元テストの実施と分析
学期ごとのめきめきタイムの状況分析

フロンティアスクールとしての成果の普及について

- 霧島町教務主任研修視察
 - ・ 平成15年6月26日 / 栗野小学校 / 霧島町教務主任
 - ・ 研究実践紹介
- 地区学習指導方法改善研修会
 - ・ 平成15年7月4日 / 栗野小学校 / 始良地区内学習指導法改善担当者
 - ・ 研究授業の提供と研究実践紹介
- 轟小学校全体研修会
 - ・ 平成15年8月21日 / 轟小学校 / 轟小学校教職員
 - ・ 研究実践紹介
- 笠沙町教育委員会・校長会合同研修視察
 - ・ 平成15年9月12日 / 栗野小学校 / 笠沙町教育委員会・校長会
 - ・ 研究実践紹介
- 大分県竹田直入校長会視察研修会
 - ・ 平成15年12月4日 / 栗野小学校 / 竹田直入校長会
 - ・ 習熟度別授業参観と研究実践紹介
- 学力向上フロンティアスクール研究公開
 - ・ 平成16年11月研究公開（予定）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | | | |
|----------------------|------------|---------|------------|----------|---|----|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | レ | 14年度からの継続校 | | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | | 7～12学級 | | | |
| | レ | 13～18学級 | 19～24学級 | | | |
| 【指導体制】 | 25学級以上 | | | | | |
| | レ | 少人数指導 | レ | T・Tによる指導 | | |
| | レ | 一部教科担任制 | その他 | | | |
| 【研究教科】 | 国語 | 社会 | レ | 算数 | レ | 理科 |
| | 生活 | 音楽 | | 図画工作 | | 家庭 |
| | 体育 | その他 | | | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | レ | 有 | | | 無 |